

定例公安委員会の開催状況について

令和4年2月24日（木）に、第6回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和3年中の苦情取扱状況について

令和3年中の苦情取扱状況と再発防止に向けた主な取組について報告があった。

委員のコメント

- 苦情受理件数が減少しているのは良いが、目線は低くという社会一般の常識がまだまだ徹底されていない。再発防止に向けて、署長など幹部が、普段から教養してほしい。若手の不適切な言動については、経験のある先輩勤務員がきちんと指導してほしい。
- 苦情受理件数が減少したのは良かった。ただ、県民は、警察側の動向や言動を細かく見ていることを肝に銘じ、それを念頭に、丁寧な対応を心掛けるべきである。実際の不適切な事例について、具体的な例を出して全職員に教養してほしい。
- 警察という職業は、県民から見て、特権を持った職業というイメージを持たれている。通常の業務の中で、言葉遣いや態度などに十分注意して勤務してほしい。ロールプレイング教養は、具体性がある分わかりやすい内容なので、効果が期待できる教養である。今後、更に苦情を減らすよう努力してほしい。

2 県警察における令和3年度定期会計監査（下半期）の実施結果について

県警察における令和3年度定期会計監査（下半期）の実施結果について報告があった。

委員のコメント

- 基本的なことが徹底されるよう、再度周知し、引き続き適正な会計業務を推進してほしい。

3 令和4年度「組織整備の重点」について

令和4年度「組織整備の重点」について報告があった。

委員のコメント

- 職務倫理指導官の新設は、非違事案防止の観点から効果的な施策である。再発防止に向けて、徹底的な取組を願いたい。その他の整備についても、それぞれの体制強化が期待できる。また女性の活躍推進だけでなく、男性の育児参加促進のポストを位置づけすることは、先進的な試みであり、成果を期待している。
- 必要な体制の増員について、よく理解できる。その分、減員される部門の業務負担が過剰にならないよう、配意して運営されたい。

- 重点5項目は、県警の意気込みが感じられる内容である。それぞれが、今後の警察活動のポイントとなるものであり、成果を期待している。ワークライフバランスにも配慮されており、山形県警察にふさわしい整備であると評価する。

4 令和3年の特殊詐欺認知・検挙状況について

令和3年の特殊詐欺認知・検挙状況について報告があった。

5 令和3年中における特殊詐欺の被害状況等について

令和3年中における特殊詐欺の被害状況、阻止状況、今後の被害防止対策について報告があった。

委員のコメント（4と5の一括報告後）

- 特殊詐欺の認知件数が減少したのは良かった。コロナ禍の影響で、非接触型である還付金詐欺や架空請求詐欺が増加しているため、これらに対する徹底的な対策を講じてほしい。特に、架空請求詐欺は、若年層まで被害が広がっているため、さらに配慮願いたい。
- 山形県の場合、巡回連絡や「やまがた110ネットワーク」の効果が出ていると感じる。被害件数では高齢者の割合が高いが、金額で見ると年齢問わず大きな被害がある。また、金額が少ないと被害に気付かないことが懸念される。現状を的確に分析した上で、広報を活用した被害防止対策を、高齢者のみならず若年層も対象に徹底してほしい。
- 検挙結果には、毎年の努力の成果が表れている。地道な対策が功を奏している。特に、若手警察官が職務質問により受け子を逮捕した事案は、高く評価したい。今後は、騙された人がいても、最終的に犯人側にお金を渡さないという、社会全体で阻止する環境作りが大事だと思う。

6 中国人による組織的な売春防止法違反事件被疑者の検挙について

中国人による組織的な売春防止法違反事件被疑者の検挙について報告があった。

7 不法滞在中国人による在留カード偽造事件検挙及び製造場所の摘発について

不法滞在中国人による在留カード偽造事件検挙及び製造場所の摘発について報告があった。

委員からのコメント（6と7の一括報告後）

- 中国人が関与する大きな事件の検挙である。県警の各部が横断的に連携した検挙であり、高く評価する。今後は、突き上げ捜査を徹底して、組織の全容解明に向けて努力してほしい。
- この種の犯罪は、今後も増えていくことが危惧される。外国人問題については、小さなことを見逃さず、被害の未然防止や拡大防止に目を向けていく必要がある。
- 山形県警察の総合力が発揮された、素晴らしい事件検挙である。こうした取組の積み重ねが、刑法犯検挙率全国第1位という結果にも表れている。民間通訳人の人選が的確だし、その通訳人本人の努力にも敬意を表したい。

8 令和3年中における運転免許の行政処分執行状況について

令和3年中における運転免許の行政処分執行状況について報告があった。

委員のコメント

- 取消件数の減少率が停止件数の減少率に比べて低いのは、飲酒運転がなかなか減らないことに起因しているのかと思う。行政処分所要日数が全国第1位の短さであることを、高く評価する。実際の担当者は、この短期間での手続完了が当然のこととして業務を進めていると思うが、それは過去の先輩方の努力が山形県警の良き伝統として引き継がれ、こうした成果となって現れているものと思う。これが悪質運転者の排除、そして交通事故防止につながるので、是非今後も継続してほしい。
- 行政処分所要日数が全国第1位であることは、大変素晴らしい。今後も、できるだけ早く処分できるように心掛けてほしい。近年、死亡事故が減少しているのは、交差点関連の取締り、特に一時不停止や横断歩行者妨害違反の地道な取締りの成果が出ていると思う。街中の車両走行速度が以前より抑制されていると感じている。取組の成果が現れているということであり、評価する。今後も継続してほしい。
- 停止処分の中でも、著しい速度違反による処分件数が減少していることは、平素からの取締りが徹底していることと、それが運転者に好影響を与えていることの現れだと思う。普段の警察や関係団体の活動とともに、県民の協力があってこそその結果である。行政処分所要日数が全国第1位ということも評価する。